

自民党 Lib Dems 笑顔は希望、やさしさは力。

岐阜県議会議員
若井あつこ
県政だより

第10号
令和3年
2021 Vol.1

岐阜の今を
若井の視点で
お届けします。



新型コロナウイルス感染症に関する岐阜県の対応

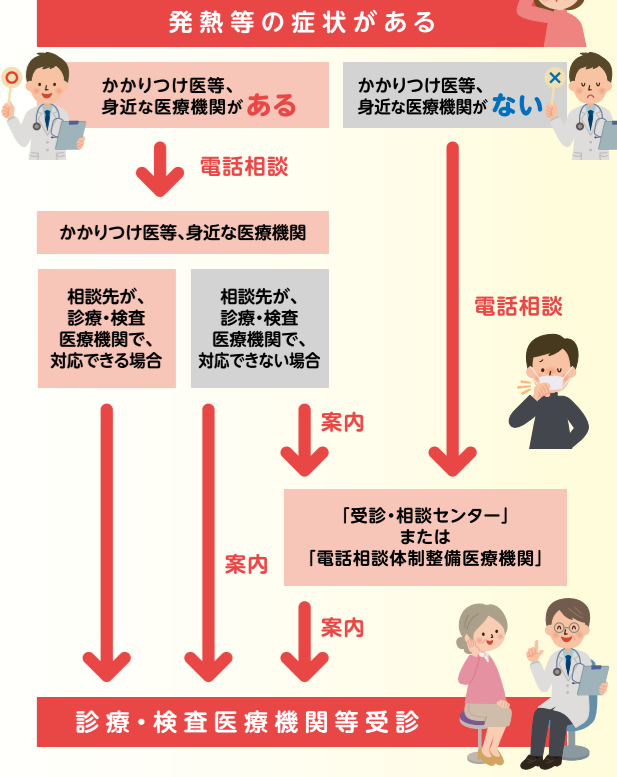
受診・相談センター

所管区域	受診・相談センター	電話番号	FAX番号	対応時間
岐阜市	岐阜市保健所	058-252-0393	058-252-0639	平日 9:00～ 17:00
羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・羽島郡・本巣郡	岐阜保健所	058-380-3004	058-371-1233	
大垣市・海津市・養老郡・不破郡・安八郡・揖斐郡	西濃保健所	0584-73-1111 (内線273)	0584-74-9334	
関市・美濃市・郡上市	関保健所	0575-33-4011 (内線360)	0575-33-4701	
美濃加茂市・可児市・加茂郡・可児郡	可茂保健所	0574-25-3111 (内線358)	0574-28-7162	
多治見市・瑞浪市・土岐市	東濃保健所	0572-23-1111 (内線361)	0572-25-6657	
中津川市・恵那市	恵那保健所	0573-26-1111 (内線258)	0573-25-1174	
高山市・飛騨市・下呂市・大野郡	飛騨保健所	0577-33-1111 (内線309)	0577-34-8327	

発熱等(発熱、せき、だるさなど)の症状がある場合の相談・受診方法

- 外出を避け、まずは、かかりつけ医等の身近な医療機関に、電話相談してください。
- かかりつけ医を持たない場合や、相談先に迷う場合は、保健所に設置されている「受診・相談センター」、または【電話相談体制整備医療機関】に相談してください。
- 相談先の案内(自院への受診案内、他の医療機関を紹介等)に従って受診してください。

※検査は、医師が必要と判断した場合に行われます。
家族など同居する人に新型コロナ感染が疑われる場合に注意していただきたいことはこちら。



休日夜間ははこちら

対応区域	電話番号	対応時間
休日夜間窓口	県内全域	[平日] 17:00～翌9:00 [土日祝日] 24時間

電話相談体制整備医療機関

受診・相談センターの代理的機能として、土日祝日や夜間に地域の発熱患者等からの電話相談を受け、受診可能な医療機関を案内します。

所管区域	医療機関名	電話番号	対応時間
大垣市・海津市・養老郡・不破郡・安八郡・揖斐郡	大垣市民病院	0584-77-0783	[平日] 17:00～翌9:00 [土日祝日] 24時間
高山市・飛騨市・下呂市・大野郡	下呂温泉病院	0576-23-2246	[平日] 17:15～翌8:30 [土日祝日] 24時間
	高山赤十字病院	0577-32-1111	[平日] 21:00～翌9:00 [土日祝日] 24時間

若井あつこ事務所

〒500-8323 岐阜市鹿島町1丁目10番地 加藤第二ビル2階
TEL.058-252-1115 FAX.058-252-1151
✉ wakai-jimusho@marble.ocn.ne.jp

※「県政だより」がご不要な方、もしくはお名前やご住所に変更のある方は、お手数ですが事務所までご連絡くださいますようお願いいたします。

若井あつこ公式SNS

Instagram, Facebook icons and QR codes.



若井あつこ 令和2年度 県政だより 3/5 令和2年度 第1回定例会 一般質問

質問 1
ひきこもり支援の取組みについて

質問 1-1
県民への相談窓口の周知について

ひきこもり支援は、社会の理解を深めつつ、生きづらさを抱えている方々をしっかりと社会全体で受け止める環境を同時に作っていくことが大切。当事者やご家族の方を支援の入り口となる相談窓口は、確実につなげていくことが問題解決の糸口となり重要であると考え、県のご所見を伺う。

質問 1-2
アウトリーチ型の支援について

ひきこもりのケースにおいては、アウトリーチ型の支援が有効な支援法のひとつとして期待されている一方で、訪問という行為は当事者にとって負担感や抵抗感が非常に強く、不意な訪問がかえって逆効果となるケースも。アウトリーチ型支援は本県においても今後進めていく必要があると考え、高い専門性やスキルが求められることから、しっかりと人材育成を行いアウトリーチの充実を図り備える必要があると考え、県のご所見を伺う。

質問 1-1
健康福祉部次長(医療担当)

ひきこもり地域支援センターでは、連絡先番号をホームページに掲載し、他に知られず連絡できるようにするとともに、リーフレットや啓発カードを市町村やコンビニに配布し周知を図っている。

民生委員や地域包括支援センターの職員などがひきこもりの方やそのご家族への接し方などを学ぶ研修会において、センターの相談窓口についてもあわせて情報提供し、支援の入り口である相談窓口を確実につなげていく。

身近な市町村における相談窓口の設置及び周知についても、市町村に

質問 1
ひきこもり支援の取組みについて

働きかけ、センターでは各圏域での巡回相談会を来年度は増やし、市町村と協力して広報活動に努める。

質問 1-2
健康福祉部次長(医療担当)

センターでは市町村や民間支援団体を対象に、アウトリーチ支援を含む相談技術に関する研修を実施し、人材の育成を行っている。

今後は、圏域ごとの会議において、市町村に加え、新たに民間支援団体にも参加いただき、地域で利用可能な制度やサービス、アウトリーチ支援を含む具体的な支援事例について情報共有していく。

質問 1-2
健康福祉部次長(医療担当)

センターでは市町村や民間支援団体を対象に、アウトリーチ支援を含む相談技術に関する研修を実施し、人材の育成を行っている。

今後は、圏域ごとの会議において、市町村に加え、新たに民間支援団体にも参加いただき、地域で利用可能な制度やサービス、アウトリーチ支援を含む具体的な支援事例について情報共有していく。

若井あつこ 令和2年度 県政だより 10/1 令和2年度 第4回定例会 一般質問

質問 1
電源を要する重度障がい児者の災害対策について

近年、気象災害が激甚化・頻発化し、それに伴い大規模停電が発生している。電源の喪失が命の危機に直面するよう人工呼吸器などの医療機器を使用している方にとって、停電への備えは不可欠。

岐阜県では、平成29年に「要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワークの構築事業を開始し、医療機関などの関係機関による支援体制の構築を目指しているがスピード感に欠けるのではないかと。早急に具体的な方策を立てる必要があると考え、県のご所見を伺う。

質問 2
コロナ禍における文化芸術活動への支援について

「コロナ禍において、行動の優先順位は命を守ることが第一となり、それ以外のものは全て二の次とされ、自粛を余儀なくされた。しかし文化芸術は希望の灯り。そこから生まれる「力」や「人」のつながりはかけがえのないもので、心に豊かさを与えてくれるもの。コロナ禍で心や社会が疲弊しているときだからこそ、文化芸術活動は一層の意義があると考えるが、県のご所見を伺う。

質問 3
岐阜和傘産業の発展に向けた取組みについて

岐阜和傘の歴史は江戸時代にさかのぼり、最盛期の昭和20年代には600軒もの和傘屋が岐阜市内に存在し、年間生産量は1000万本を超え、岐阜は日本一の和傘の産地として

質問 1
健康福祉部次長(医療担当)

平成29年度に県が行った調査では、重度障がい児者のご家庭においては十分なバッテリーの稼働時間が確保されていない。また、病院においても約8割で受入態勢が整っていない状況。このため、電源を要する重度障がい児者のご家庭や支援者向けに、予備

質問 2
障がい者スポーツの振興について

障がい者スポーツは多様性を認め合う機会を創出してくれるだけでなく、共生社会を具現化するための重要なヒントを持ち合わせている。パラリンピックでは、障がいのあるアスリートたちが、個性や能力を發揮し活躍することができるとともに、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性を、プレーする人だけでなく、観る人や支える人に考える機会や気づきを与えてくれる。インクルーシブな社会の創出につながる機会と考えるが、県のご所見を伺う。

質問 2-1
東京2020パラリンピックに向けた取組みについて

障がい者スポーツは多様性を認め合う機会を創出してくれるだけでなく、共生社会を具現化するための重要なヒントを持ち合わせている。パラリンピックでは、障がいのあるアスリートたちが、個性や能力を發揮し活躍することができるとともに、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性を、プレーする人だけでなく、観る人や支える人に考える機会や気づきを与えてくれる。インクルーシブな社会の創出につながる機会と考えるが、県のご所見を伺う。

質問 2-1
清流の国推進部長

県は、障がい者アスリートの競技力向上に向け、平成30年度から、県スポーツ科学センターに障がい者アスリート専任の研究員を配置し、選手各々の障がいの程度を考慮したフィジカルトレーニングの指導、フォーム改善を目的とした動作分析などマンツーマンでサポート。東京大会後も、選手の発掘による裾野の拡大から育成強化まで、障がい者アスリートの競技力向上に向け、引き

質問 2
県民文化局長

県は、緊急事態宣言の解除後、6月2日から開催の「Art Award 2020」を皮切りに、6月6日から「再始動プロジェクト」を皮切りに、7月17日から「1000名de名演」を順次実施するなど芸術文化鑑賞の機会を設けてきた。これらは、入場制限を行い、かつ公演映像をネットで配信し多くのファンが鑑賞した。

今後、障害者の方々の発表の場として「Tomoniaru」のフェスティバルの開催、小中高生による「ジュニア文化祭」の実施、県内各地の「アートラボ」の展開なども行っていく。

また、6月補正予算で創設した「文化芸術活動応援助成金」を活用し、9月末までに22件の舞台公演などが開催された。

コロナ禍での文化芸術活動が様々な方々に力を与えているという認識のもと、引き続き、文化芸術の振興に力注いでいく。

質問 3
岐阜和傘産業の発展に向けた取組みについて

岐阜和傘の歴史は江戸時代にさかのぼり、最盛期の昭和20年代には600軒もの和傘屋が岐阜市内に存在し、年間生産量は1000万本を超え、岐阜は日本一の和傘の産地として

質問 3
商工労働部長

現在、喫緊の課題であるロク口と傘骨職人の育成に向け支援を行っている。今後は、部品を組み立て、傘に仕上げる職人の育成へと支援を広げていく。

傘骨製造機械では、今年度制作する設計図を基に、来年度には試作機を作り、生産体制の強化を図っていく。

岐阜和傘という「ブランド」を確立し、国内外への情報発信強化のため、国の伝統的工芸品指定に向けた準備を進める。

さらに、首都圏でのプロモーション、展示・販売機会を創出し、新たな個人向け市場や高価価格帯商品の更なる市場開拓を積極的推進するなど、岐阜和傘産業の持続的な発展に向け、「攻め」の取組みを進めていく。

質問 2-2
警察本部長

道路利用者の安全確保を念頭に置きつつ、タンDEM自転車の特性や事故防止対策等について検討し、今後、県府県での事故実態や運用状況、関係団体等の要望も見極めながら、タンDEM自転車での公道走行の可能性について適切に判断していく。


続き取り組んでいく。

質問 2-2
県内の一般公道におけるタンDEM自転車の走行解禁について

日本パラサイクリング連盟は、御嶽濁河高地トレーニングエリアにて合宿を行っているが、視覚障がい者競技のひとつであるタンDEM自転車(2人乗り自転車)に限っては一般公道での走行が認められていない。しかし全国的には公道走行解禁の動きが活発化。これは本県のスポーツ・観光の振興や環境への配慮、また障がいのある方にとって更なる社会参加を可能にし、生活の質の向上にもつながるものと考え、県のご所見を伺う。

一一般質問の様子は岐阜県議会HPでもご覧いただけます。

岐阜県議会 議会中継



◆賞会中学・高等学校にてメンタル強化プログラムの講演会でのワンショット(10月5日)

活動報告

令和2年



2020年
活動報告
ここから
スタート!

装賀きもの学院
新年の会にて

1月



1/5 岐阜市中央卸売市場
初競り



1/13 岐阜市消防出初式



▲柴橋正直岐阜市長と



1/19 岐阜県知的障がい者サッカー連盟主催
サッカーフェスティバル

私は連盟の
会長です。



1/22～24 教育警察委員会県外視察
【大分県・宮崎県】
●大分県立由布高等学校
●大分県警察鑑識科学センター
●宮崎県立高鍋農業高等学校
●宮崎県警察 中村通交番



1/28 令和元年度
専門高校生地域連携推進事業
（西濃地区）合同発表会

2月



2/3 東光山 玉性院
節分つり込み祭り



2/23 岐阜県ジュニア
ソフトボール協会会長杯

3月



3/5 第1回定例会
一般質問



7/30 土木委員会県内視察
【関ヶ原町・養老町・岐阜市・各務原市】
●岐阜関ヶ原古戦場記念館、
県道関ヶ原停車場線・歩道補修【関ヶ原町】
●県道養老垂井線・(仮称)橋爪大橋、
養老公園【養老町】
●東海環状自動車道・(仮称)岐阜IC、
県道岐阜美山線【岐阜市】
●境川上戸排水機場【各務原市】



養老天命反転地

7月



この頃から
WEB会議が
とても多くなりました。



▲公益財団法人
岐阜県スポーツ協会
「令和2年度第1回理事会」など



▲義務教育学校 白川郷学園
7年生の皆さんと

5月

岐阜県議会教育警察委員会から
土木委員会へ



4月



コロナ禍でも子どもたちが
家庭で簡単に楽しめる
若井あつこオリジナルの
空手エフサインズをご紹介します！

若井あつこプロフィール

岐阜県岐阜市生まれ。
公益財団法人全日本空手道連盟公認7段。
日本スポーツ協会上級コーチ、健康運動指導士の資格を持つ。
4歳の頃交通事故に遭い重傷を負い、怪我の後遺症を克服するためのリハビリテーションとして、小学1年生から剛柔流空手道を学ぶ。
空手道に夢中になっていくうちに後遺症を克服し、やがて競技という勝負の世界を目指すようになる。
しかし、社会人になっても結果を出すことができず苦悶の日々を過ごし、競技を退くことも考えたが、平成7年1月に突然「世界チャンピオンになる」と宣言。
その後は猛練習に明け暮れ、平成9年「第2回東京世界女子空手道選手権大会」において、国際大会初優勝。
翌年の平成10年、空手界最高峰の大会「第14回世界空手道選手権ブラジル大会」に、27歳で初出場し初優勝。
その後、平成16年「第17回世界空手道選手権メキシコ大会」にて、前人未踏の4連覇を達成。
この記録は「ギネス世界記録」に認定され、現在も破られていない。
平成17年「第7回ワールドゲームズドイツ大会」の3連覇を達成し、競技を引退。
若井あつこは、当時の常識をくつがえし社会人となって開花したことから、「遅咲きの選手」とも呼ばれたが、その軌跡から同世代の共感を呼び、次世代の可能性を広げることになった。
現役を引退後は、平成19年4月に西濃運輸株式会社の空手道部監督に就任。
平成24年に開催された「ぎふ清流国体空手道競技」では、総合優勝の一翼を担った。
その後、平成27年4月に岐阜県議会議員に初当選（現在2期目）。
岐阜県政では、女性・子ども政策をはじめ、インクルーシブ社会や豊かな人生100年時代の実現に向けて、日々努めている。



▲岐阜県出身の切絵作家
草太氏の作品

若井あつこの主な役職（令和2年12月現在）

- 岐阜県議会 土木委員会 副委員長
- 自由民主党 岐阜県連 女性局長
- 西濃運輸株式会社 空手道部 総監督
- 中部学院大学 空手道部 監督
- 公益財団法人 全日本空手道連盟 理事
- 一般社団法人 全日本実業団空手道連盟 理事
- 公益財団法人 岐阜県スポーツ協会 理事
- 岐阜県ジュニアソフトボール協会 会長
- 岐阜県知的障がい者サッカー連盟 会長
- 岐阜市スポーツ協会 副会長

8月

岐阜和傘の
伝統文化を守るための
取り組みなどについて
調査いたしました。



8/7 長良川てしごと町屋
CASA 視察



岐阜公園内に
オープンした
「麒麟がくる
岐阜大河ドラマ館」にて



麒麟がくる

9月

10月



8/31 土木委員会県内視察
【令和2年7月豪雨被災地】
●奥田洞谷【郡上市大和町】
●国道41号路面陥没
【下呂市小坂町】
●高天ヶ原谷【下呂市小坂町】
●白川浸水箇所【白川町】



10/1 第4回定例会
一般質問



10/9 障害者芸術・文化祭サテライト開催事業
「tomoniアートのフェスティバル
「いろんなみんなの」展覧会
種を、まく。」



11月



11/11 土木委員会県内視察
【飛騨地域】
●長良川鉄道【関市】
●高山濃飛バスセンター【高山市】
●一級河川江名子川【高山市】
●国道158号 被災箇所【高山市丹生川町】
●小八賀川 被災箇所【高山市丹生川町】
●中部縦貫自動車道【高山市丹生川町】



11/29 本郷町けやき通り
案内プレート除幕式

